

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水整備課	内線等	2242
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	単独公共下水道污水管渠築造事業		
根拠法令等	下水道法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

## 事務事業の内容

対象	単独公共下水道認可区域内において
手段	污水管渠築造工事を行うことにより
想定する成果	下水道事業の整備促進を図る。

## 事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
管渠工事費	123,798 千円	90,522 千円	111,100 千円
整備面積（累計）	4.7 (859.8) ha	5.1 (864.9) ha	5.6 (870.5) ha
布設延長	2,038 m	2,820 m	1,805 m

## 成果指標

成果指標名	整備進捗率	1 ha当りの整備費
成果指標の説明	累計整備面積 / 認可区域面積 × 100 (1136 ha)	事業費 / 整備面積

## 事業の進捗状況（下水道特別会計）（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	76.6 %
	実績	75.7 %	76.1 %	-
成果指標	計画	-	-	19,839
	実績	26,340	17,749	-
事業費	事業費	123,798	90,522	111,100
	人件費	15,044	14,873	15,160
	(人数)	1.8	1.8	1.8
	合計	138,842	105,395	126,260
財源内訳	国	42,187	22,153	29,200
	県	991	1,299	1,600
	市債	72,558	60,363	72,270
	その他			
	一般財源	23,106	21,580	23,190

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	当初予定した以上に整備面積・工事延長共に整備できた。
経済効率性	2	2	コスト縮減施策に準じた縮減は出来たと思うが、予算以上の成果を得られたのは、思わぬ入札差金によるものである。
事務効率性	2	2	投入された人員以上の成果をあげたが、入札差金の処理に追われ計画的な発注が出来なかった。
必要性	3	3	市が実施すべき事業であり、早期完了をめざす。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	特に形原地区では、受益者負担金説明会に同席し、工事の説明も行ったため市民も協力的で大したトラブルもなく工事が完了した。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	蒲都市において、必要不可欠な事業である。常にコスト縮減意識を持ち、計画的な発注を図り早期完了をめざす。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

本管築造時に、専門業者（指定排水設備業者）により取付管位置を決定し施工後のトラブルを減らすことや同時施工による工事費の縮減を図る。また、他事業と同調施工に心がけ、円滑な施工とコスト縮減を図る。

### 今後改善すべき点

各職員に割当てられた工事の計画的な発注に心がけ、早期発注・早期完了をめざす。

### 平成16年度予算に反映する項目

受益者負担金の賦課区域内（形原町第2-1負担区）の重点整備と形原町の未整備箇所の早期整備完了をめざす。

### 組織、人員に関する提言

汚水管築造の新設工事と管渠等施設の維持管理は別物であり、現在の人員では新設工事に追われ維持管理が手薄となる。公共下水道を本格的に始めて34年経過している。管渠の老朽化も進んでおり大きな事故の起きる前の手当てが必要な時期にきている、維持を中心とした係及び人員が必要である。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水整備課	内線等	2244
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	豊川流域関連公共下水道污水管渠築造事業		
根拠法令等	下水道法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	豊川流域関連公共下水道認可区域内において
手段	污水管渠築造工事を行うことによって
想定する成果	下水道事業の整備促進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
管渠工事費	23,107 千円	103,544 千円	64,300 千円
整備面積（累計）	0.8 (130.8) ha	5.0 (135.8) ha	4.5 (140.3) ha
布設延長	331 m	2,165 m	1,206 m

成果指標

成果指標名	整備進捗率	1 ha当りの整備費
成果指標の説明	累計整備面積 / 認可区域面積 × 100 (260 ha)	事業費 / 整備面積

事業の進捗状況 ( 下水道特別会計 ) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	54.0 %
	実績	50.3 %	52.2 %	-
成果指標	計画	-	-	14,289
	実績	28,884	20,709	-
事業費	事業費	23,107	103,544	64,300
	人件費	10,030	9,916	10,106
	(人数)	1.2	1.2	1.2
	合計	33,137	113,460	74,406
財源内訳	国	6,727	33,227	1,900
	県	509	601	380
	市債	14,284	62,744	55,818
	その他			
	一般財源	11,617	16,888	16,308

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	低入札により、当初予定した整備面積（10%増）、工事延長（40%増）共に整備できた。
経済効率性	2	2	コスト縮減は引き続き継続中で投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	低入札により投入された人員以上の成果をあげたが、工事の発注が年度末に集中し、計画的な発注が出来なかった。
必要性	3	3	市が実施すべき事業であり、早期完了をめざす。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	受益者負担金説明会に、工事の説明も行ったため市民も協力的に工事は完了した。しかし現場における苦情があり、現場管理に問題があった。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	豊川流域大塚分区において、必要不可欠な事業である。常にコスト縮減意識を持ち、計画的な発注を図り早期完了をめざす。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

本管築造時に、専門業者（指定排水設備業者）により取付管位置を決定し施工後のトラブルを減らすことや同時施工による工事費の縮減を図る。

### 今後改善すべき点

計画的な早期発注・早期完了をめざす。特に国道23号の工事は他事業との調整を図る必要がある。現場管理の徹底を図る。

### 平成16年度予算に反映する項目

受益者負担金の賦課区域内（大塚第2負担区）の重点整備により大塚地区の早期整備完了をめざす。

### 組織、人員に関する提言

補助工事を中心とした発注で現在の人員及び配置では、低入札による残金処理を含め、予算消化に追われ、計画的な早期発注・早期完了また補助工事に対応する人材の育成さらに、地域からの苦情等の処理において、より一層な迅速かつ的確な処理がなされない。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水整備課	内線等	2247
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	下水道施設管理システム構築事業				
根拠法令等	下水道法		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

## 事務事業の内容

対象	埋設管管理と確認について
手段	台帳紙ベースからデジタルベース化にすることによって
想定する成果	台帳の劣化の解消、緊急時の迅速な対応と災害時のためのデータ分散化及び印刷等の軽減化。

## 事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
システム導入		下水道台帳システム導入14,101千円	
保守点検	システムに導入に伴う レベル測量委託 1,740千円	保守費リース料 0千円	保守費リース料 950千円
資料確認	配管データ確認	測量委託 3,497千円	前年度資料作成・測量調査1,426千円

## 成果指標

成果指標名	事業進捗率
成果指標の説明	システム累計事業費 / システム全体事業費 × 100 (5年ベース総事業費55,200千円)

## 事業の進捗状況 ( 下水道特別会計 ) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	62.7%
	実績	3.9%	50.8%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	1,741	17,597	2,376
	人件費	418	8,263	4,211
	(人数)	0.05	1.0	0.5
	合計	2,159	25,860	6,587
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,159	25,860	6,587

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	業者との協議不足や資料の提供不足で高さ調整や情報提供が滞り、一部システム作動が遅れた。
経済効率性	3	3	業者の選定方法を技術提案によるプロポーザル方式を採用した。このことにより経済的で技術的に高度で蒲郡市独自の特徴あるシステムになった。
事務効率性	2	2	2課に渡るため業者との協議は内容を集約して調整することが増え、予定していた人員以上になった。
必要性	3	3	法のとおり、市民・業者に埋設管等の情報の提供と確認することは市として整えるべきである。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	管路の確認は情報公開が年度末になったので時間的に利用度が低かった。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	一部システム作動は遅れたが、概ね管路情報提供は出来るようになった。今後の目標は毎年度完了資料のパソコン入力がスムーズに行なえることである。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

台帳の高さ確認で測量委託を実施し、精度の高い資料となり、年度ごとの資料作成で事務の簡素化が図られた。  
水道施設台帳とサーバーの共有化を図ったため、コスト縮減化につながった。

### 今後改善すべき点

当初計画はクライアントが2台であったがコスト縮減を考慮するとクライアントが1台になった。このため、閲覧用として管路の情報ぐらいは市民・業者に提供できるようにしたい。

### 平成16年度予算に反映する項目

受益者負担金システムを台帳システムに組み込み、調定・収納処理や照会機能が容易になり、未納者管理など容易に迅速になる。

### 組織、人員に関する提言

現在、係りが係長含めて2名しかいなく、県からの調査・計画等が複雑となり量も多く認可計画策定作業も控えているため、人数に対しては非常に支障を来す。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載